

# Team Foundation Server 2018 を使用したバージョン管理 Magic xpa 3.0/Magic xpa 2.5/uniPaaS V1Plus 補足資料

マジックソフトウェア・ジャパン株式会社 2018 年 8 月 24 日

本ドキュメントは、Magic xpa 3.0/Magic xpa 2.5/uniPaaS V1Plus で Team Foundation Server(以下 TFS)2018を使用したバージョ管理の補足資料です。 TFS2013(TFS2010)との違い、及び注意事項 等について記載されたものです

各章の番号は、「<u>Microsoft Team Foundation Server を使用したバージョン管理</u>」の各章の番号に合 わせたものです。

## 目 次

Team Foundation Server 2018 を使用したバージョン管理 補足資料	1
3. TFS のインストール	2
参考サイト	2
3.1 前提ソフトウェアのインストール	2
3.2 TFS 2018 のインストール	2
3.4 TFS チームプロジェクトの作成	11
6.2.1 プログラムリポジトリ全体のチェックアウト	16
8. ワークスペースについて	17
9. トラブルシューティング	18
9.1 クライアントから接続できない。	18
9.2 「サーバから開く」処理で、クライアントにプロジェクトを作成する際、エラーが発生する。	18
9.3 プログラムリポジトリに「プログラムソースが見つかりません.」の行がある。	18
9.4 クライアントのプロジェクトフォルダを移動すると、TFS サーバと正しくバージョン管理できなくなる。	18
9.5 「プロジェクトの除外」を行ったプロジェクトに対して、TFS のチームプロジェクトに残ったプロジェクト	フォル
ダを削除すると、除外したはずのクライアントのプロジェクトも削除される。	20



3. TFS のインストール

#### 参考サイト

リリースノート https://docs.microsoft.com/ja-jp/visualstudio/releasenotes/tfs2018-relnotes

システム要件(英語サイト) https://docs.microsoft.com/ja-jp/tfs/server/requirements?view=vsts

バージョン管理システムの利用について(英語) https://docs.microsoft.com/ja-jp/vsts/repos/tfvc/overview?view=vsts

3.1 前提ソフトウェアのインストール IIS も.NET3.5 も予めインストールしておく必要はありません。 IIS は TFS のサーバ構成の過程でインストールされます。

3.2 TFS 2018 のインストール

インストーラを起動します。





インストールボタンをクリックしま す。

終了したら、「今すぐ再起動」をク

リックして、マシンを再起動しま

す。



Team Foundation Server 2018 Update 2

セットアップが完了しました。 指定したコンポーネントがすべて正常にインストールされました。

製品を起動するには、先にコンピューターを再起動する必要があります。

今すぐ再起動(N)



再起動してログオンすると、次の 画面が立ち上がるので、「次へ」 をクリックします。

「ウィザードの開始」をクリックし

ます。

Team Foundation Server 構成	×
🌆 サーバー構成ウィザー	-۴
ようこそ 新しい配置 詳細設定 毎回	ようこそ このウィザードでは、新しい配置を最初から作成するか、既存の配置をアップグレードするか、または新しいアプリケーション層を設定するかを問 わず、Team Foundation Server の配置を傷成します。ここではンプリオの選択、入力、入力の検証、および配置の傷成のプロセスをすべて 網羅しています。
= ∞ データバース アカウント アプリケーション層 検索	
レポート プロジェクト コレクション 確認	
過音性デェック 構成 完了	Team Foundation Server の品質向上プログラム Visual Studio Iクスペリエンス向上プログラム (VSEIP)の一環として、Team Foundation Server および Team Foundation Server によって インストールされるその他のフボーネントのインストールおよび爆成に関する情報を常に収集します。さらに、オプトインに同意して情報を共有す ると、VSEIP では Visual Studio の使用に関連するパフォーマンス、設定、信頼性、接続、使用状況データを収集します。このデータを使用し て個人を特定することはありません。
	<ul> <li>Visual Studio エクスペリエンス向上プログラムに参加する(Y)</li> <li>参加しない(N)</li> <li>詳細については、プライパシーに関する声明を参照してください。</li> </ul>
Team Foundation Server 2	2018 Update 2 前へ(P) 次へ(N) 確認(V) キャンセル
Team Foundation Server 構成センター	X
🙀 構成センター	
Team Foundation Server の構成	このウィザードの詳細
Team Foundation Server Proxy の構成 検索の様成	Team Foundation Server ウィザードでは、新しい配置を最初から作成するか、既存の配置をアップクレードするか、または 新しいアプリケーション層を設定するかを問わず、TFS の配置を構成します。
追加のツールとコンポーネント PreEmptive Analytics Community E	以前のリワースくは、複数のワイワートかきまさなシアリオ同じに用意されていました。新しい知道にはな幸っクソフートとノル ウィザード、アップグレードシナリオにはアップクレードやガード、他のさまざまなシナリオにはアプリケーション層専用ウィザードで す。この単一のウイザードは、これらすべてのウイザードを置き換え、選択、検証、および個々のシナリオでの実行のプロセス全 体を案内します。
	別の何か(Team Foundation Server Proxy など)を構成する必要がある場合は、次の利用可能な他のウィザードのいず れかを使用します。
Team Foundation Server	- 2018 Update 2 ウイザードの開始(S) 閉じる



新規のインストールでは上、以 前の TFS のデーターベースが残 っている場合は下のボタンを選 択して、「次へ」をクリックします。 ここでは、上の「新しい Team Foundation Server」で進めます。 Team Foundation Server 構成 × 🚮 サーバー構成ウィザード ようこそ 配置タイプ 新しい配置 ● これは新しい Team Foundation Server 配置です(W) 詳細設定 このオプションを選択した場合、新しいデータベースを持つ新しい TFS 配置が作成されます。 言語 ○ Team Foundation Server 配置に使用する既存のデータベースがあります(X) データベース このオプションを選択すると、ウィザードの次のページで選択する既存のデータベースに対して TFS 配置を構成します。 アカウント アプリケーション層 検索 レポート プロジェクト コレクション 確認 適合性チェック 構成 完了 前へ(P) 次へ(N) 確認(V) キャンセル Team Foundation Server 2018 Update 2

標準のセットアップを行う場合は 上、カスタマイズが必要な設定 の場合は下を選択して「次へ」を クリックします。 ここでは、上の「新しい配置-基 本」で進めます。

Team Foundation Server 構成		×
🚮 サーバー構成ウィザ	́-К	
ようこそ 新しい配置 基本 電話 SQL Server インスタンス アプリケーション層 検索 確認 遠合性チェック 構成 売了	配置シナリオの選択 次のオジョンから、新しい配置シナリオを選択します。 新しい配置・基本 ほとんどの入力に既定のオブションを使用して、新しい Team Foundation Server の配置を作成します。このオブションを使用すると、 すぐに準備が可能になります、サービス アカウントやボートなどの入力オプションを26に割回する必要がある場合。または SQL Server Reporting Services 読合を構成する必要がある場合は、上級ジナリオを日本の必要があります。 新しい配置・上級 すべての入力に対するフル・コントロールを持つ新しい Team Foundation Server の配置を作成します。このオプションでは、それぞれの 入力に独自の値を指定し、SQL Server Reporting Services 統合を構成することができます。	
Team Foundation Server	2018 Update 2 前へ(P) 次へ(N) 確認(V) キャンセル	



言語はデフォルトの日本語のま ま「次へ」をクリックします。

Team Foundation Server 構成		×
쀎 サーバー構成ウィサ		
ようこそ 新しい配置 基本 <u>言語</u> SQL Server インスクンス アプリケーション層 検索 確認 通合性チェック 構成 売了	言語を選択します 多くの文字列は、サポートされているすべての言語でインストールされ、値々のユーザーが選択した使先する言語で表示することができます。作 来項目の憧憬といったプロセス要素の文字列など、単一の言語でのみインストールされる文字列もあります。 初期機成後は、Team Foundation Server の展開で使用する言語を変更できません。将来的に別の言語を選択する必要がある場合は、 新しい配置を増成する必要があります。 日本語 ─	
Team Foundation Server	2018 Update 2 前へ(P) 次へ(N) 確認(V) キャンセル	1

SQL Server がインストールされ ていなければ上、既にインストー ル済みであれば、「既存のインス タンスを使用」を選択して、「次 へ」をクリックします。

Team Foundation Server 構成	Х
눩 サーバー構成ウィリ	<sup>e</sup> - h <sup>*</sup>
ようこそ 新しい配置 基本 言語 SQL Server インスタンス アプリケーション層 検索 確認 通合性チェック 構成 売了	Team Foundation データペース用の SQL Server インスタンスを選択してください ● SQL Server Express をインストールする(E) このオプションを選択すると、Microsoth SQL Server Express の新しいインスタンスがインストールされ、構成データペースおよびチームプロ ジェクト 10 ジョン テータベースが培納されます。 ● 既存の SQL Server インスタンスを使用する(C) 構成データペースおよびチームプロジェクト データペースに既存の SQL Server を使用する場合は、このオプションを選択します (SQL Server Express はインストールされません)。
Team Foundation Serve	r 2018 Update 2 前へ(P) 次へ(N) 確認(V) キャンセル



TFS のプロジェクト管理を行う Web サイトで標準の httpと https の設定。

TFS のプロジェクト管理は、後述 するプロジェクトの作成やユーザ の追加等を行います。 ネットワーク環境を考慮して選択

して、「次へ」をクリックします。

オプションの検索サービスの設定。必要に応じて選択し、「次へ」をクリックします。

OUTPERFORM THE FUTURE Team Foundation Server 構成 × 🚮 サーバー構成ウィザード ようこそ アプリケーション層 Web サービスの設定を指定してください 新しい配置 Web サイトの設定 基本 グループの設定(S): 既定 言語 サイト バインディング: http://\*:8080/tfs SQL Server インスタンス パブリック URL: http://WIN2016DB01:8080/tfs アプリケーション層 サイト設定の編集 検索 ▲ これらの設定は、これまで Team Foundation Server の多くのリリースで設定値とされてきましたが、今後は Team Foundation Server のほとんどの配置で SSL を使用することをお勧めします。ネットワーク提由での通信をセキュリティで保護するためです。 ネットワーク提由で送信されるデークには、ソースコード、作業項目データ およびセキュリティトークン (他のユーザーを偽装したり、 特権を昇格したりするのに使用できる) が含まれます。詳細を表示 確認 適合性チェック 構成 完了 Team Foundation Server 2018 Update 2 前へ(P) 次へ(N) 確認(V) キャンセル Team Foundation Server 構成 х

🚮 サーバー構成ウィサ	<sup>2</sup> – <sup>1</sup> ,
ようこそ 新しい配置 基本 電話 SQL Server インスタンス アブリケーション層 検索 確認 適合性チェック 構成 売了	<ul> <li>☆ 検索構成の設定を指定します</li> <li>ごれらの設定を指定します</li> <li>ごれらの設定を使用して、オブションの検索機能をインストールに構成します。検索サービスを構成すると、すべてのコレクションに対する作業項目の検索と Wiki search が有効になります。必要なサービバーティのコンパーネントもインストールされます。ハービウェアの要件とインストールします。オービウェアの要件とインストールと構成</li> <li>● 検索サービスのインストールと構成</li> <li>● 検索サービスのインストール():</li> <li>検索インデックスの場所:</li> <li>CaffsData¥SearchWindexStore</li> <li>(*) 使素のパーマンスを得るには、ソリッド ステート ドライブ (SSD) ストレージでパックアップされたフォルダーを選択します。</li> <li>● 既存の使気中レビスの使用(D:</li> <li>● サージンに検索サービスを行くストールするには、検索サービスパッケージのコンテンツをリモート マシンにコピート、readme ファイルの指示に従います。</li> <li>ご 既存のチームプロジェクト コレクションと新しいチームプロジェクト コレクションに Code Search 拡張機能を自動的にインストールする</li> </ul>
Team Foundation Server	(▼) サード / アカウント r 2018 Update 2 前へ(P) 次へ(N) 確認(V) キャンセル



ウィザードで設定した項目を確 認の上、「次へ」をクリックしま す。

leam Foundation Server 構成					×
🚮 サーバー構成ウィ	ザード				
ようごそ 新しい配置 基本 言語	次に進む前に構成の設定を 適合性チェックを開始する前に、選	確認してください 沢した各構成設定を確認してください。			ľ
SQL Server インスタンス アプリケーション層	フィードバックの送信	いいえ			
検索	アプリケーション層 構成シナリオ サービス アカウント 認証方法 データハース言語 仮想ディレクトリ サイト バインディング パブリック URL ファイル キャッシュ フォルダー SSH サービス客有効にする SSH ポート	NewServerBasic NT Authority¥LocalService NTLM 日本語 ffs http:*:8080: http:*:8080: http://WIN2016D801:8080/tfs C:¥TFSData¥ApplicationTier¥_fileCacl ばい 22	he		
	<b>構成データベース</b> SQL Express のインストール SQL Express のアップグレード SQL インスタンス	はい いいえ WIN2016DB01¥SqIExpress			
Team Foundation Serv	ver 2018 Update 2	前へ(P	) 次^(N)	検証(V)	キャンセル

インストール可能かどうか、サー バ環境の適合性がチェックされ ます。 成功したことを確認の上、「構

成」をクリックします。

Team Foundation Server 構成		×
🚮 サーバー構成ウィザ		
ようこそ 新しい配置 基本 言語 SQL Server インスタンス アプリケーション層 検索	<ul> <li>適合性チェックにより、システムを構成する準備ができていることを検証します</li> <li>適合性チェックに合格しました。</li> <li>システムの検証</li> <li>データ層</li> <li>アプリケーション層</li> </ul>	成功 成功 成功
確認 適合性チェック	<ul> <li>プロジェクト コレクション</li> <li>適合性チェックを再実行するには、ここをクリックしてください。</li> </ul>	成功
<b>揭</b> 成 完了	詳細な結果(R): ④ 次のサービスは自動的にインストールされます: World Wide Web Publishing Service	ログを開く
Team Foundation Server	2018 Update 2 前小(P) 次小(N)	構成(C) キャンセル



セットアップが実行されます。

				OUTPERFORM	THE FUTURE
leam Foundation Server 構成					~
쀎 サーバー構成ウィリ	$f^{*} - F^{*}$				
ようこそ 新しい配置 基本 言語 SQL Server インスタンス アプリケーション層 検索 確認 遠合性チェック <b>構成</b> 売了	<ul> <li>構成の進行状況</li> <li>ISを構成しています</li> <li>● 構成の準備</li> <li>● IISの構成</li> <li>SQL Express のインストール 構成データペース</li> <li>Web サイトの作成</li> <li>サービスの構成</li> <li>プロジェクト コレクション</li> <li>Web サイトの開始</li> </ul>			先见末未未来 了理职始 婚姻關關戰 開始 始 始	
Team Foundation Serve	r 2018 Update 2	前へ(P)	次へ(N)	完了	閉じる

正常にセットアップされたら、「次 へ」をクリックします。

Team Foundation Server 構成			×
🚮 サーバー構成ウィリ	f' - f'		
ようごそ 新しい配置 基本 	構成の進行状況		
≡ 85 SQL Server インスタンス アプリケーション層 検索	<ul> <li>✓ 構成の準備</li> <li>✓ IIS の構成</li> <li>✓ SQL Express のインストール</li> <li>✓ ###データパーフ</li> </ul>	完了 完了 完了 ** 7	
確認 適合性チェック 構成	<ul> <li>Web サイトの作成</li> <li>サービスの構成</li> <li>プロジェクトコレクション</li> </ul>	光了 完了 完了 完了	
完了	<ul> <li>Web サイトの開始</li> <li>正常に完了 構成は正常に完了しました。(次へ)をクリックして、詳細情</li> </ul>	先了 報を表示してください。	
Team Foundation Serve	r 2018 Update 2	節へ(P) 次∧(N) 完了	閉じる
Cum Foundation Scive			



ログやコメントを確認の上、画面 を閉じます。

Team Foundation Server 構成	X
🚮 サーバー構成ウィリ	$f - h^{\circ}$
ようこそ 新しい配置 基本 言語 SQL Server インスタンス アプリケーション層 検索 確認 適合性チェック 構成 <b>東了</b>	<ul> <li>         は果を確認してください         <ul> <li></li></ul></li></ul>
Team Foundation Serve	r 2018 Update 2 前へ(P) 次へ(N) 完了 閉じる



3.4 TFS チームプロジェクトの作成

TFS 2018 のチームプロジェクトは、Team Explorer 2013 から作成できませんので、Web ブラウザから、TFS の管理用 Web サイトにアクセスして行います。

Web ブラウザを起動して、次のよう な URL にアクセスします。 http://(TFS Server):8080/tfs または、 https:// (TFS Server):8080/tfs (TFS Server )は、TFS をインストー ルしたサーバ名。

※クライアントマシンからアクセス できない場合、サーバのファイアウ オールをチェックするか、インストー ルしたサーバから Sever 名を localhost に設定して実行します。

次のような画面が起動されます。

それぞれの項目を入力し、作成ボ タンを押下します。

プロジェクト名:必須 説明:任意 バージョンコントロール:Team Foundation バージョン管理 作業項目プロセス:開発環境に合 わせて選択しますが、通常はデフ オルトの Agile で可。

						L
🔿 (Interperiod of the second	st:8080/tfs/DefaultCollection/_	projects?_a 🔎	じ 🗘 新しいプロ:	ジェクトの作成 - Mi ×		
DefaultCollection ~	プロジェクト	お気に入り	担当作業項目	自分のプル要求	0	<u></u>
	Ť		হ	🛓 ii 👗		
	新しいプロジェイ プロジェクトには、と す。 コレクション名 DefaultCollection	<b>クトの作</b> ノースコート	<b>成</b> ×、作業項目、	自動ビルドなどが	が含まれていま	
	プロジェクト名 *					

http://localho	st:8080/tfs/DefaultCollection/_projects?_a ク - C ( 新しいプロジェクトの作成 - Mi ×	
$\epsilon$ faultCollection $\checkmark$	プロジェクト お気に入り 担当作業項目 自分のプル要求 🛛 🐵	â
	新しいプロジェクトの作成	
	プロジェクトには、ソース コード、作業項目、自動ビルドなどが含まれていま す。	
	コレクション名	
	DefaultCollection	
	プロジェクト名*	_
	xpa32Project01	
	説明	
	Magic xpa 3.2のデフォルトプロジェクト	
	バージョン コントロール	
	Team Foundation バージョン管理 V 📀	
	作業項目プロセス	
	Agile V 🕐	

作成後に、次のような画面が表示 されれば、正常に作成されていま す。



maa

ここで、TFS のサーバにアクセス可 能な開発ユーザが登録済みであ れば、右側にある「メンバー」の 「+」をクリックして登録することが できます。

「+」をクリックします。

xpa32Project01	チーム のメンバーシップの管理	×
+ 追加   ひ   検	촜	
表示名	ユーザー名またはスコープ	
Administrator	WIN2012R2NNHV02\Administr 削除	
	閉じる	



roje xpa32Project01 チームのメンバーシップの管理 × 🗊
× ユーザーおよびグループの追加
このグループにユーザーまたはグループを追加するには、そのサインイン アドレスまたはグループのエイリアスを入力 します
ユーザーまたはグループ
変更の保存キャンセル 閉じる
/// · · · · // // // // // // // // // /

登録されている Windows のユー ザ、またはグループを入力すると、 候補が表示されます。

左上の「+追加」をクリックします。

roje xpa32Pro	ject01 チーム のメンバー	・シップの管	× 理 (1)
ユーザーおよ	びグループの追加		×
このグループにユーザーま; します	たはグループを追加するには、そのサインイン ア	ドレスまたはグループ(	のエイリアスを入力
ユーザーまたはグループ	magicuser		
	WIN2012R2NNHV02\magicuser WIN2012R2NNHV02\magicuser		RI
	1件の結果を表示しています		
		WE ARE	ab. 5 161
		変更の保仔	キャンセル
			// 閉じる
			11
	-		



Enter キーで確定して「変更の保存」をクリックします。

)	roj€	xpa32Prc	oject01 チーム	、のメンバー	-シップの管	× ]理	• (1)
	ユ-	ザーおよ	でグループの	の追加			×
	このグバ します	レープにユーザーま	たはグループを追加する(	こは、そのサインイン ア	'ドレスまたはグループの	のエイリアスを)	ኢታ
	ユーザ・	ーまたはグループ	WIN2012R2NNHV	02\magicuser 🗙			
					変更の保存	キャンセノ	r
L					I	閉じる	11
					変更の保存	キャンセノ 閉じる	L 

登録されました。

xpa32Project01 🗧	チーム のメンバー	シップの管理 ×	
+ 追加 🗋 🗌 検索			
表示名	ユーザー名またはスコープ		
Administrator	WIN2012R2NNHV02\Admini	str	
🎦 magicuser	[WIN2012R2NNHV02]	削除	
		閉じる	
			li

ブラウザを閉じて、TFS サーバでの作業は終了です。

チームプロジェクトの設定変更を、「4.クライアント側のインストール」を行った後に行います。



4.2 TFS への接続

クライアントの Team Explorer から[チームエクスプローラ]→ [チームプロジェクトの選択] で、[サーバ]から、セットアップ した TFS サーバを追加して選 択すると、作成したチームプロ ジェクトが表示されます。

	▼ 月-ムエクスプローラー - 接続 ▼ 早 >
▼ - ワークスペース(O): WIN10	- C C A 🕴 🔃 作業項目の検索 (Ct 🔎
	★ 接続   xpaProject01
<u> </u>	チームプロジェクトの選択… チームプロジェクトの作成…
eam Foundation Server への接続	? ×
Team Foundation Server の選択(S):	
win2012r2	✓ サーパー(R)
チーム プロジェクト コレクション(C):	チーム プロジェクト(T):
DefaultCollection	☑ (すべて選択)(A)
	✓ xpa32Project01
	+tt ##
	技統キャンセル

ソース管理エクスプローラを表示して、「3.4.3 チームプロジェクトの設定変更」の手順で、[チェックの設定]を変更 します。

以上で、TFS のチームプロジェクトの設定は完了です。



6.2.1 プログラムリポジトリ全体のチェックアウト

通常、プログラムの追加、削除、移動などを行う場合、個々のプログラムに対するチェックアウトの前に、プログ ラムリポジトリに対するチェックアウトは自動的に行われます。

例えば、F4キーで新規プログラムを作成時に次のようなダイアログが出ます。

▲ オブジェクトのチェックアウト: プログラム リポジトリ	×
אלאב:	
	い机( <u>C</u> )

チェックインは自動で行われませんので、追加、削除、移動が完了した後には、チェックインを行う必要があります。(6.2.2 参照)



#### 8. ワークスペースについて

ワークスペースは各クライアントで管理されるTFSのチームプロジェクト内のソースファイルのフォルダと、それに 対応するクライントのローカルフォルダ、およびサーバかクライアントのどちらのワークスペースを有効にするか の情報等が保存されています。

ワークスペースは、Team Explorer から、[チームエクスプローラ]→[ソリューション]→ワークスペースの名前から 右クリックメニューの[ワークスペースの管理]から、確認することができます。

「Magic xpa Studio でのバージョン管理は、ソース管理の設定で行ったように、複数のチェックアウトを有効にしないため、サーバのワークスペースで実行します。

したがって、xpaから作成されたワークスペースの編集画面の[場所]には「サーバ」が設定されます。」

フークスペース	WIN10	NN01 の編集		?	×
名前(N):		WIN10			
サーバー(S):		win2012r2nnhv02¥DefaultCollection			
所有者(O):	:	n			
コンピュータ-	-(P):	WIN10NN01			
場所(L):		サーバー			~
ファイルの時	間(F):	現在			~
アクセス許可(M): プライベート ワークスペース				~	
コメント(C):		プライベートワークスペースはその所有者のみが使用できます。			
					0
作業フォルタ	ヺ–(W):				
状態	ソース	管理フォルダー 🔺	ローカル フォルダー		
アクティブ	\$/xpa	a32Project01/PetshopTFS	C:¥data¥projects32¥PetshopTFS		
	新しい	1作業フォルダーを入力するには、ここをクリックします			
削除(R	()	<< 詳細設定(A)	ОК	キャンセ	ıル

Magic xpa のプロジェクト作成時に、ワークスペースの情報は自動的に更新されますので、通常は編集すること はありません。

例外的に、Team Explorerを介さずにプロジェクトの移動や削除をして、既に存在しないプロジェクトのデータが残っている場合は削除しても影響はありませんが、既存のプロジェクトのフォルダの情報を修正することは、ここでは行わないでください。

参考:

https://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/ms181383.aspx https://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/bb892960.aspx



### 9. トラブルシューティング

#### 9.1 クライアントから接続できない。

#### Team Explorer から接続できない場合、TFS サーバのファイアウォールの設定を確認してください。

アプリに Windows ファイアウォール経由の通信を許可する 許可されたアプリおよびポートを追加、変更、または削除するには、[設定の変更] をクリックします。

プリに通信を許可する危険性の詳細	😌 🚼	定の変更(	N)
許可されたアプリおよび機能(A):			
名前	プライベート	パブリック	^
□ Netlogon サービス			
□ Secure Socket トンネリング プロトコル			
□ SMBDirect でのファイルとプリンターの共有			
SNMP Trap			≡
SQL Server 2012 UDP	$\checkmark$	✓	
☑ SQL Server2012 TCPport	$\checkmark$	✓	
Team Foundation Server: TeamFoundationSshService	$\checkmark$	✓	
✓ Team Foundation Server:8080			
□ TPM 仮想スマートカード管理			11
☑ uniPaaS19 MRB 5315		✓	
☑ uniPaaS19 RemoteDebugger 5555	$\checkmark$	✓	
□ uniPaaS19 runtime	✓	✓	~
	詳細(L)	削除(M	)

9.2 「サーバから開く」処理で、クライアントにプロジェクトを作成する際、エラーが発生する。

デフォルトで設定されたローカルフォルダの指定が不正な場合に発生します。 以下のサイトを参考にして、プロジェクトの作成時にフォルダ名を変更してください。

https://esupp.magicsoftware.co.jp/QCJSys/qcj.req?arguments=-A2002826.300

9.3 プログラムリポジトリに「プログラムソースが見つかりません.」の行がある。

プログラムリポジトリ全体の同期を取ったときに、「プログラムの最新バージョンを取得」のチェックを行わなかったために、プログラム番号に対応するプログラムファイルが存在しない場合に発生します。

この場合、ツールバーの「選択したオブジェクトの最新バージョンを取得します」をクリックするか、複数のプログ ラム番号で、その記述がある場合には、プルダウンメニューから[バージョン管理]→[最新プロジェクトの取得]を 行います。

9.4 クライアントのプロジェクトフォルダを移動すると、TFS サーバと正しくバージョン管理できなくなる。

TFSの管理されたプロジェクトに対して、Windowsのエクスプローラ等でフォルダの移動やリネームを行うと、TFSのプロジェクトと正しく同期がとれなくなります。

プロジェクトフォルダの移動を行う場合には、Team Explorer から行うことができます。

- 1. Magic xpa Studio で開発中のプロジェクトをクローズする。
- 2. Team Explorer を起動して、ソース管理エクスプローラを開く。

ソース管理エクスフローラー ⇒ × ※ ◎	· <mark>2</mark> ऌ - ₫ 0 乘 <b>Ÿ</b> -	ワークスペース(0): 「	
ソースの場所(L): 💼 \$/xpa32Project01/F	PetshopTFS	L	
フォルダー 🗙	ローカル パス(P): <u>C:¥data¥projects32¥P</u>	etshopTFS	
win2012r2nnhv02¥DefaultCollec	名前 ▲	保留中の変更	ユーザー
<ul> <li>PetshopTFS</li> <li>Source</li> </ul>	Source PetshopTFS.edp		

3. 左側の「フォルダー」ペインのプロジェクト名を選択して、右クリックメニューから、[詳細設定]→[マップの 削除]を選択する。

ソース管理エクスプローラー 🖓	×						
🛋 🍕 😡   🖆 🗙	8 🛡 🕯	🔒   🤊   🗟 - 🛃 🧐	2 V	• - ワークス	ペース(0):	WIN10NN01	
ソースの場所(L): 💼 \$/xpa3	32Project01/	PetshopTFS					
フォルダー	フォルダー × ローカル パス(P): <u>C:¥data¥projects32¥PetshopTFS</u>						
<ul> <li>win2012r2nnhv02¥D</li> <li>xpa32Project01</li> <li>DeteborT55</li> </ul>	efaultCollec	名前 🔺		保留中	の変更	ユーザー	
≥ Sou Š	最新バージョ 編集用にチ: 削除(D) 名前の変更 移動(F)。	ョンの取得(L) ェックアウト(O) ፤(R)					
9 <b>≙</b>	(R) で更を元に戻す(U) で更をチェックイン(I) で更をシェルブ(S)						
<b>ତ</b> _ୟ	履歴の表示 比較(C)	ξ(H)	č	特定バージョ ロック(K)	aンの取得(G	)	
to	ッター(F) レダーに追加(A)		ラベルの適用	N) 用(Y) S)			
4	検索(F) 詳細設定(A	A)	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	ピュークリイ(、 プロパティ(T) マップの削除	) ≷		

4. [マップの削除]のダイアログから、ローカルフォルダに移動したいフォルダ名に変更する。

マップの削除		?	×		
ワークスペース マッピングを編集または削除します。					
現在の状態:	このサーバー フォルダーはこのローカル フォルダーにマップされています。				
サーバー フォルダー(S):	\$/xpa32Project01/PetshopTFS				
ローカル フォルダー(L):	C:¥data¥projects32¥TFS¥PetshopTF\$				
🗹 サブプロジェクトも対	対象(R) 変更(C) マップの削除 =	キャンセ			



5. 変更ボタンをクリックすると、移動処理が行われる。

ソース管理エクスプローラー ⇒ ×					-			
🛋 🍕 🛛 🎽 🗅 🗶 💧 🗮 🖨	i 💙 🗟 - 🙋 🧐 🕮 🛛 -	ワークスペース(0):	WIN10NN01		-			
ソースの場所(L): 🧰 \$/xpa32Project01/PetshopTFS 🔹								
フォルダー 🗙	ローカル パス(P): <u>C:¥data¥projects32¥TFS¥PetshopTFS</u>							
win2012r2nnhv02¥DefaultCollec	名前 ▲	保留中の変更	ユーザー	最新	最後のチェックイン			
<ul> <li>PetshopTFS</li> <li>Source</li> </ul>	Source PetshopTFS.edp			はい はい	8/9/2018 4:56:1 8/9/2018 4:56:1			
4								
出力					• # ×			
出力元の表示(S): ソース管理 - Team Four C: #data#project.sdz#iF.S#Pet.shopTFS% C: ¥data¥project.sd2#iF.S#Pet.shopTFS% C: ¥data¥project.sd2¥IF.S#Pet.shopTFS% C: ¥data¥project.sd2¥Pet.shopTFS% J.,	ndation Source#Prg_33.Xml を置き換えていま Source#Prg_94.xml を置き換えていま Source#Prg_95.xml を置き換えていま Source#Prg_96.xml を置き換えていま Source#Prg_97.xml を置き換えていま Source#Prg_98.xml を置き換えていま Source#Prg_98.xml を置き換えていま Source#ProjProps.xml を置き換えていま	Set C: ¥data¥proj     (C: ¥data¥proj	22 ects32#PetshopTFS ects32¥PetshopTFS ects32¥PetshopTFS ects32¥PetshopTFS ects32¥PetshopTFS ects32¥PetshopTFS ects32¥PetshopTFS cts32¥PetshopTFS cts32¥PetshopTFS	#Source#I ¥Source¥I ¥Source¥I ¥Source¥I ¥Source¥I Source¥P TFS¥Source¥I ¥Source¥I	rrg_33.Xml からす Prg_94.xml からす Prg_95.xml からす Prg_97.xml からす Prg_97.xml からす Prg_98.xml からす Prg_98.xml からす rogs.xml からす Rights.xml からす			

6. Magic xpa Studio で移動したプロジェクトを開いて動作を確認の上、移動前のフォルダを削除する。

9.5 「プロジェクトの除外」を行ったプロジェクトに対して、TFS のチームプロジェクトに残ったプロジェクトフォルダ を削除すると、除外したはずのクライアントのプロジェクトも削除される。

「プロジェクトの除外」は、Magic xpa Studioの中のTFSとの管理情報が削除されましたが、Team ExplorerのTFS との関連情報は残っています。

クライアントのプロジェクトを残して、TFS のチームプロジェクトから削除したい場合、一旦、クライアントのプロジェクトを別のフォルダにコピーしてから、Team Explorer で、プロジェクトフォルダを削除およびチェックインします。

以上